

2015.09

# J Aバンク福井県信連

*R e p o r t*



福井県信用農業協同組合連合会

## 目 次

1. 地域貢献に関する取り組み・・・・・・・・・・ 1
2. 主要勘定の状況・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 損益の状況・・・・・・・・・・・・・・ 2
4. 単体自己資本比率・・・・・・・・・・・・・・ 3
5. 不良債権の状況（単体）・・・・・・・・・・ 4
6. 有価証券時価情報・・・・・・・・・・・・・・ 5

## 地域貢献に関する取り組み

当会は、福井県を事業区域として、地元のＪＡ等が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

その資金の大半は、県内のＪＡにお預けいただいた農家組合員および地域の皆さまの大切な財産である貯金を源泉としており、資金を必要とする農家組合員の皆さま方や、ＪＡ・農業に関連する企業・団体および県内の地場企業や団体、地方公共団体などにもご利用いただいております。

また、農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、ＪＡとの強い絆とネットワークを形成することによりＪＡ信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めております。

さらに、資金供給や経営支援などの金融機能の提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

なお当会は、協同組合の相互扶助の精神を大切にし、以下のような地域貢献活動を実施しております。

### 1. 地域密着型金融への取組

農業協同組合を基盤とする協同組織金融機関として、「健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を、金融機関として最も重要な役割の一つであると認識し、その実現に向けて取り組んでおります。

当会では、金融円滑化にかかる基本的方針を制定し、対応体制を整備し、他の取引金融機関とも連携して、新規のご融資・お借入条件の変更等のお申込みに対する柔軟な対応やお客さまの経営相談等、経営改善に向けた取組みへの支援等を積極的に対応しております。

#### <金融円滑化の実施状況>

(単位：件)

債務者が中小企業者である場合	平成24年3月末	平成25年3月末	平成26年3月末	平成27年3月末	平成27年9月末
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の数	25	32	41	47	54
債務者が住宅資金借入者である場合	平成24年3月末	平成25年3月末	平成26年3月末	平成27年3月末	平成27年9月末
貸付けの条件の変更等の申込みを受けた貸付債権の数	0	1	1	1	1

### 2. 文化的・社会的貢献活動

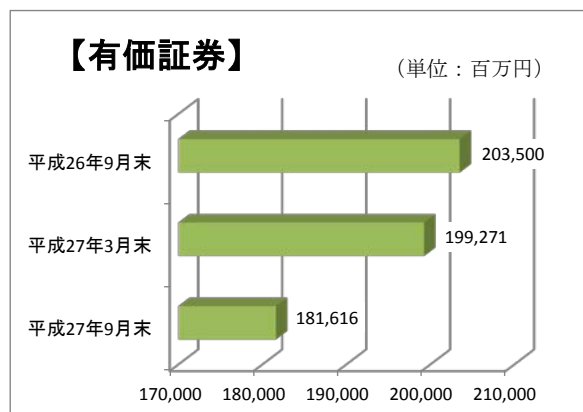
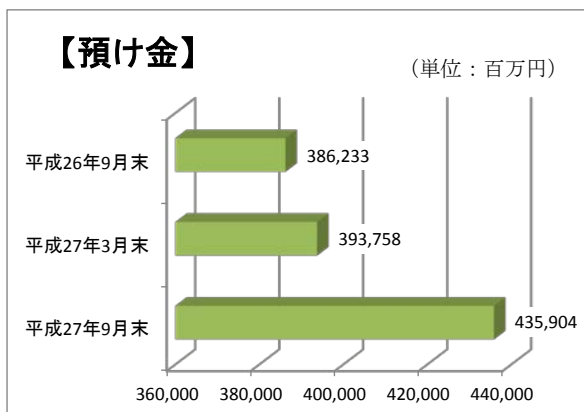
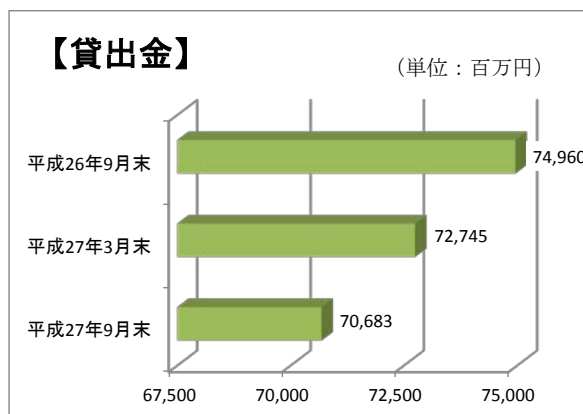
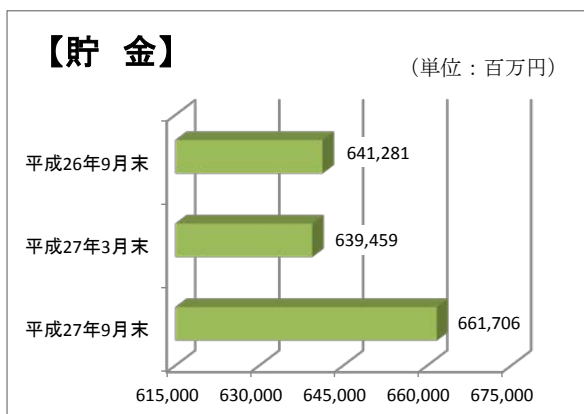
(1) 農業に対する地域の理解と振興、農業ファン作りを目的とした「ＪＡバンクアグリサポート事業」を展開しています。

(2) 「福井県中学校軟式野球選手権大会」、「ＹＯＳＡＫＯ Ｉ イッチョライ」等県内開催の各種イベントへの特別協賛を行っております。

### 3. 各種相談会の開催

年金相談会、住宅ローン相談会を開催しております。さらに、顧問税理士が、県下JA組合員の皆様からの相続税・贈与税相談等に対応するなど、地域の皆さまの相談にお答えし、また、お役に立つ情報をお伝えしております。

## 主要勘定の状況



注 貯金には譲渡性貯金が含まれています。

## 損益の状況

(単位：百万円)

	平成27年度半期	平成26年度半期	平成26年度
経常利益	2,083	1,934	2,669
当期剰余金	1,681	1,589	2,262

## 単体自己資本比率

(単位：百万円、%)

		平成27年9月末	平成27年3月末
自己資本比率	A/B	19.53	18.88
自己資本額	A	49,136	47,901
リスク・アセット	B	251,545	253,602

【リスク・アセット】・・・金融機関が保有する資産のうち、リスクを有する資産（貸出金や有価証券など）を、リスクの大きさに応じて掛目を乗じ、再評価した資産金額のことです。

(注) 金融庁・農林水産省告示第2号「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」に基づき算出しております。

【自己資本比率の算出方法】

自己資本の額 (H27.9 末)

49,136 百万円

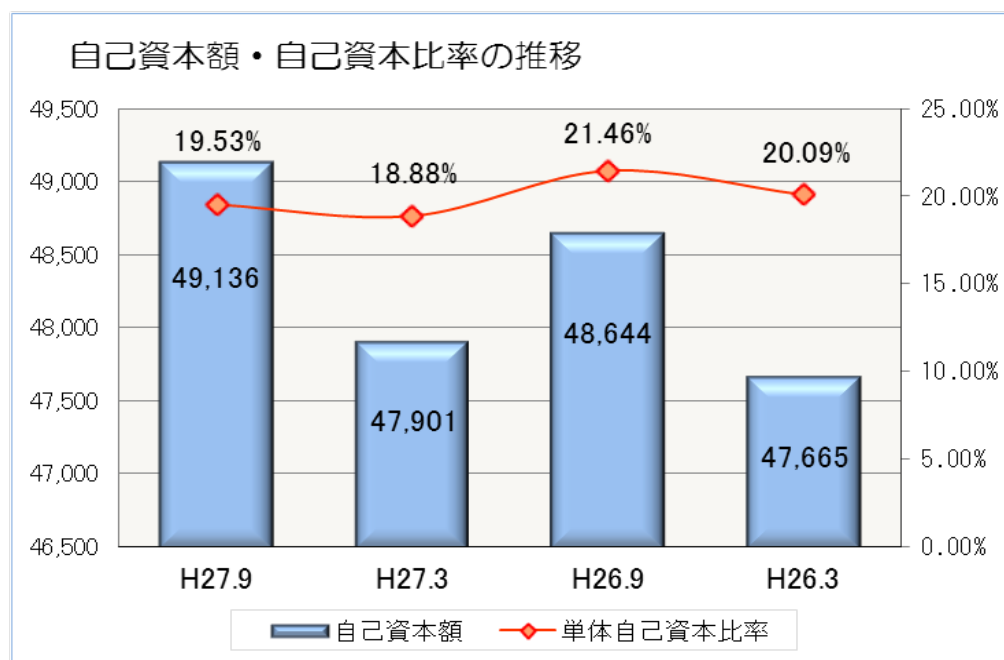
× 100 =

自己資本比率(H27.9 末)

19.53%

リスク・アセットの額 (H27.9 末)

251,545 百万円



## 不良債権の状況(単体)

### 【金融再生法開示債権】

(単位：百万円、%)

債権区分	平成27年9月末	平成27年3月末	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	841	991	△ 149
危険債権	185	128	56
要管理債権	-	-	-
小計(不良債権) A	1,027	1,120	△ 92
正常債権	70,088	72,066	△ 1,978
合計(総与信残高) B	71,116	73,187	△ 2,070
不良債権比率(金融再生法) A/B	1.44	1.53	△ 0.09

(注) 上記の債権区分は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」(平成10年法律第132号)第6条に基づき、債務者の財政状態及び経営成績等を基礎として、次のとおり区分したものです。

- ① 破産更生債権及びこれらに準ずる債権  
破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。
- ② 危険債権  
債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。
- ③ 要管理債権  
3カ月以上延滞債権で上記①及び②に該当しないもの及び貸出条件緩和債権をいいます。
- ④ 正常債権  
債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記①から③までに掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

### 【不良債権比率の算出方法】

不良債権の額 (H27.9 末)

1,027 百万円

総与信残高 (H27.9 末)

71,116 百万円

× 100 =

不良債権比率 (H27.9 末)

1.44%

## 有価証券時価情報

### 【有価証券】

(単位：百万円)

区 分	平成27年9月末			平成27年3月末		
	取得価額	時 価	評価損益	取得価額	時 価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有	2,999	2,999	-	5,499	5,499	-
そ の 他	172,183	178,617	6,433	186,833	193,771	6,938
合 計	175,183	181,616	6,433	192,332	199,271	6,938

(注) 9月末の有価証券の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。

取得価格は、売買目的有価証券については取得価額を、満期保有目的有価証券またはその他有価証券については償却原価適用後の帳簿価額を記載しております。



JAバンク福井県信連